



大台ヶ原 おわせみち 「尾鷲道」100周年

「マブシ嶺から望む尾鷲」 写真提供：内山佳和

「船津のインクライン」 写真提供：海山郷土資料館

「尾鷲道」は、尾鷲の林業家・土井 與八郎が大台教会開殿後、紀州の信者の参詣道として1915(大正4)年に寄進され、大台ヶ原への登山路として尾鷲や北牟婁郡の多くの人々に利用されました。大台教会開祖は古川 嵩で、池峰明神参籠の行を果し、1893(明治26)年教会を建設開始して6年後の1899(明治32)年、開殿式を迎えました。

かつての「尾鷲道」では、ブナの木に雨がかけると、小さな葉から小枝を伝わり、やがて一つの流れとなって決まった場所を流れ、渴いたのどには恵みの水となったのです。また、晴れた日には、緑の柔らかな光が一面にふり注ぎ、落ち着きと安心感を行きかう人に与えようと思われま

す。一方、奈良県側からは、土倉 庄三郎が寄進した「筏場道」が栄えました。「尾鷲道」は、1961(昭和36)年に大台ヶ原ドライブウェイが開通するまで、奈良県川上村からの「筏場道」と合わせて、大台ヶ原登山のための登山路として、1970(昭和40)年代頃まで、ほとんどの人は矢所から古和谷ルートを通り、大台ヶ原に至っていました。

尾鷲市史年表によると、1962(昭和37)年8月末、尾鷲公民館の夏の行事として、尾鷲神社を早朝に出発して、大台ヶ原登山が実施されたことが記されています。索道や軌道の開設・閉鎖の影響で、登山路の起点やルートに変遷が見られます。たとえば、1940(昭和15)年代までは柳ノ谷(龍ノ谷)のルートからが一般的であったそうです。



「ヤエンによる木材運搬」 写真提供：海山郷土資料館



熊野古道からのてがみ

熊野古道からのてがみ
 36 通目



辰野橋からの眺め

や石仏を探してみようという楽しみを作っております。とくに興味があったのは道標の町石です。五輪卒塔婆、笠塔婆、板碑、石仏が町石として用いられています。江戸時代は民間信仰が隆盛して全国各地に地蔵町石が多く造立されましたが、八鬼山の地蔵町石は室町時代後期と古く、熊野古道関連の冊子によく紹介されています。これからも、若い頃には興味を示さなかった尾鷲の歴史をひも解いたり、石仏を訪ねるといふ趣味を活かしながら、故郷尾鷲に帰省したいと思っております。

20歳で尾鷲を出てから早半世紀近くになります。共働きたった私は、子供の夏休み等何かにつけて実家に帰省しております。国道42号の鷲毛の坂を上り、尾鷲トンネルを抜けて展望橋を渡ると尾鷲の家並みと大きな石油タンクが目に入ります。やと尾鷲に着いたと懐かしくほっとする瞬間です。熊野街道の馬越峠越えは、明治の小山浦から天満浦の海岸まわり、大正の桜茶屋経由の新県道へ移り、そして昭和の改築による国道42号尾鷲トンネルが開通しました。亀山から3時間かけて走ってきた国道経由のドライブは、平成の道紀勢道が整備されて2時間弱となり、同時にこの風景を見る機会が少なくなりました。熊野への道も八鬼山越えから矢ノ川越えに変わり、昭和40年代には矢ノ川トンネルが開通しました。そして、紀勢道の整備により八鬼山トンネルで抜けて熊野まで30分と掛からない道の移り変わりは時代の変化と言つてしまえばそれまでですが...

しかし、八鬼山の姿は江戸時代の西国三十三所名所図会とほとんど変わりなく、尾鷲を囲む山々の姿も変わってはいません。帰省するごとに、故郷は変わつてほしいという気持ちと、発展して欲しいという気持ちで複雑です。両親の介護で5、6年は頻りに帰省してました。その間、三重県教育委員会発行の『三重県石造物調査報告書I(東紀州地域)』と、『歴史の道調査報告書(熊野街道)』の冊子に目を通し



よねかわ ちかこ
 米川 千賀子さん
 (亀山市)

筆リレー
 次は京都府の
 杉島季代子さん

花尻 薫からの季節のたより No.36

ツワブキ キク科

ツワブキの語源は「葉に艶のあるフキ」とか「フキに似た大きな葉が、つやつやしているのツワブキ」といったものが訛って名前がついたと言われています。自生地は本州(福井県・福島県以西)四国・九州・琉球・台湾・中国・朝鮮にかけての海岸近くに多いようです。日本海側では石川県以南にあります。



ツワブキ

花の時期は10月~12月で、葉の柄は若い時にゆでて食べられます。海岸地方に多い理由は、葉の表面が潮風や強風にも強く、乾燥に対しては特に強いのが特徴であると言われています。

其のために漢字では石路とも呼び、岩石の多い斜面に好んで生える性質があるようです。

食べる場合は、春にやわらかい葉柄を切り取り、少量の重曹を入れて、熱い湯でゆでてアクを抜いてから皮をむき、佃煮やてんぷらにします。

ツワブキにはいくつかの種類もあり、葉に黄色の紋が入ったものを「キモンツワブキ」と言い、葉の幅が45cmで、葉の柄が長さ約1mもあるツワブキを「オオツワブキ」と名前をつけています。琉球列島の南部に「オキナワツワブキ」などが見られるようです。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
料金: 中学生以上 1,200円
小学生以上 700円
4歳~小学生 300円
4歳未満 無料
60歳以上 1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
入浴料: 一般 600円
65歳以上 500円
4歳~小学生 300円
4歳未満 無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪
 営業時間: 9:00~17:00
 (カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。



●お車で越しの方は...
 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビデオ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

熊野古道センターニュースレター 熊野古道センターからのてがみ

●2015年秋号●

- 発行日: 2015年9月5日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 東
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)

60000150905MH

イベント情報
Event Info.

企画展 1 「雨のまち 尾鷲気象物語」

雨のまちとして知られる尾鷲。大雨をもたらすメカニズムや気象観測・天気予報の仕組みについて紹介します。

会 期:9月19日(土)~11月23日(月・祝)
午前9時~午後5時※会期中無休
入場料:無料
場 所:企画展示室

付属事業①
ギャラリートーク

気象予報士が展示資料について解説します。



日 時:9月20日(日)、21日(月・祝)、10月3日(土)
午後1時~(約30分)
参加料:無料
場 所:企画展示室

付属事業②
講演会

「気象キャスターの表と裏 / 尾鷲の雨」

尾鷲はなぜ雨が多いの?そのメカニズムを解き明かします。また、気象キャスターの裏話や苦労話などもお話しさせていただきます。



日 時:10月11日(日) 午後1時30分~午後3時
入場料:無料
定 員:100名(要申込・先着順)
場 所:映像ホール
講 師:石橋 亜紀子氏
(NHKおはよう東海気象キャスター、気象予報士)
受 付:9月11日(金)~10月10日(土)

付属事業③
体験教室

「ラジオ天気図にチャレンジしよう」

NHKラジオ第2放送気象通報の地上天気図を書いてみよう。



日 時:10月10日(土) 午前10時~11時45分
参加料:230円(資料代)
定 員:20名(要申込・先着順)
場 所:映像ホール
対 象:小学3年生~6年生
講 師:気象庁津地方気象台予報官
受 付:9月10日(木)~9月30日(水)

企画展 2 「御浜焼の魅力」

地元の人々に愛されてきた御浜焼は、七里御浜の美しい海を連想させます。今はなき御浜焼の魅力と、職人の技と御浜の土が織りなす作品の数々をご紹介します。



会 期:平成27年12月5日(土)~平成28年2月14日(日)
午前9時~午後5時
入場料:無料
場 所:企画展示室
*期間中に付属イベントを開催する予定です。

特別展① 「竹内敏信 写真展 熊野古道」

風景写真の第一人者・竹内敏信氏が、熊野の情景を写した写真の中から、選りすぐりの作品約20点を展示します。



会 期:9月5日(土)~10月25日(日) 午前10時~午後5時
入場料:無料 ※会期中無休
場 所:特別展示室

特別展② 「番留京子作品展 熊野だより(仮)」

和歌山県新宮市熊野川町在住の木版画家・木彫アーティストの番留京子氏の作品展を開催します。1992年に熊野に移住し、長く熊野の森を感じ、様々なイメージが蓄積した番留氏ならではの作品約15点を展示します。



会 期:10月31日(土)~12月3日(木) 午前10時~午後3時 ※会期中無休
入場料:無料
場 所:特別展示室

付属事業 ワークショップ 「葉っぱの版画の絵手紙づくり~コラグラフ体験~(仮)」

葉っぱやレース、厚紙などの身近な素材を切り貼りして、版作りからポストカードサイズの紙への印刷までを体験します。

日 時:10月31日(土)午後1時~3時30分
参加料:500円
定 員:10名程度(要申込・先着順)
場 所:体験学習室
講 師:番留京子氏(木版画家・木彫アーティスト)
受 付:9月30日(水)~10月30日(金)午後5時

その他
Guide&Tips

第9回 熊野古道写真学校

日本を代表する風景写真家、竹内敏信氏(日本写真家協会会員)を校長に、世界遺産である熊野古道とその周辺を舞台として、写真のスキルアップを目指す写真教室。第9回目となる今年の熊野古道写真学校は、尾鷲市・紀北町を舞台に、世界遺産である熊野古道の撮影の他、熊野で暮らす人、古道ですれ違う人、様々な出会いに遭遇した瞬間を体感できる撮影スポットをご案内します。

開催日 11月21日(土)午後12時30分~11月23日(月・祝)午後12時
参加料 Aプラン 28,000円(2泊6食付)
Bプラン 12,000円(宿泊無し、昼2食付)
定 員 40名(要申込・先着順)
場 所 尾鷲市・紀北町
講 師 清水 重蔵氏(日本写真家協会会員・新潟県写真家協会会員・日本写真家連盟講師)
杉本 恭子氏(日本写真家協会会員・キャンEOS学園講師など、その他講師や審査員として活躍)



熊野と出会う

第9回 熊野古道フォトコンテスト 作品募集

写真を通して熊野古道とその周辺にある自然や祭り、風物詩など、東紀州の様々な魅力を再発見し、全国へ向けて当地域の多様な魅力を発信するための、第9回熊野古道フォトコンテストを開催します。東紀州の魅力を表現した自慢の作品をご応募ください!



応募締切 平成27年12月21日(月) 当日必着
応募テーマ 「東紀州の四季」
風景・祭り・風物詩などを通じて、東紀州の四季の魅力を表現した写真
審査委員 竹内敏信氏(社団法人日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長)
賞 ○最優秀賞1点 賞金5万円
○優秀賞2点 賞金2万円 ○入選多数 記念品
*応募規定など詳細は三重県立熊野古道センターHPでご確認いただけます。
応募先・問合先 三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667

和歌山県
世界遺産
センター
からのお知らせ

当センターが行う参詣道保全活動「道普請」は、年間2,000名を超える方々が参加され、毎年、参加人数も増えていきます。平成19年からの累積参加数は、延べ225団体12,321名となっています。今秋も、企業・学校・各種団体などからのご予約があり、高野山町石道・熊野参詣道での道普請が数多く予定されています。通常、道普請は1トン単位の土入れ作業を行うことから、団体受付となっていますが、個人で参加できる「環境保全トレッキング」を和歌山県では年に数回行っています。「環境保全トレッキング」へ個人で参加をご希望の方は和歌山県商工観光労働部観光振興課世界遺産班(073-441-2424)までお問い合わせください。また、当センターでは、「紀伊山地の霊場と参詣道」の良好な保全及び適切な活用が円滑に進むよう、世界遺産セミナーを開催しています。次回の世界遺産セミナーでは、「熊野三山本願所」について、熊野三山協議会幹事の山本殖生氏にご講演していただく予定になっています。2学期以降、和歌山県世界遺産協議会(事務局:和歌山県世界遺産センター)では、次世代を担う子どもたちへの世界遺産教育として、次世代育成事業を実施します。今年度は、和歌山県内の小中学校及び高等学校等から22校約1,200名が参加される予定になっています。

平成27年度 第4回 世界遺産セミナー(予定)

第4回 平成28年 1/24(日) 13:00~15:00
内容 「熊野三山本願所」について
講師 山本 殖生氏(熊野三山協議会幹事) 参加費 無料
場所 熊野本宮館 多目的ホール (田辺市本宮町本宮100-1)

※諸般の事情により、日程・内容・場所等が変更になる場合がありますので、和歌山県世界遺産センターへご確認ください。
平成27年5・6・7月の道普請参加団体(敬称略)
日本たばこ産業株式会社大阪支社、株式会社三菱東京UFJ銀行、南山大学付属小学校、三菱電機株式会社冷熱システム製作所、日本旅行業協会関西支部、さわかみ一般財団法人
文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関する お問い合わせは 和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

講座・講演

9/19(土) 高野山開創1200年記念 紀伊山地の豊かさ信仰を深める連続講演会 第1回 植島啓司講演会「紀伊山地とその信仰~聖地誕生~」
本年、高野山は弘法大師空海によって真言密教の道場として開かれて、丁度1200年を迎えます。その節目を記念して、熊野古道センターでは、聖地高野山が1200年継承してきた空海の本懐やその魅力を広く知っていただくため、講演会を開催いたします。
時 間:午後5時~午後6時30分 場 所:大ホール
参加料:無料 講 師:植島啓司氏(宗教学者)
定 員:150名(要申込・先着順)

体験学習

10/3(土) 熊野古道自然学校 「熊野古道の植物を学ぶ~第3回野草・シダ植物編~」
熊野古道に自生する植物について総合的に学ぶ講座です。第3回目は、野草とシダ植物について、熊野古道大吹峠を歩きながら、その分類や生態を学びます。
時 間:午前10時~12時 雨天の場合は10/4(日)に延期
参加料:300円(保険料、資料代含む) 雨天の場合は10/4(日)に延期
定 員:20名(要申込・先着順)
場 所:熊野古道大吹峠
講 師:大洞浩一氏(日本シダ学会会員、日本自然保護協会会員)
受 付:~9月27日(日)

東紀州の四季を味わう料理教室 10/3(土) 「紀和牛と秋野菜のおもてなしメニュー」
東紀州の旬の食材をふんだんに使い、よりおいしい調理法を学んでいただきます。
日 時:10/3(土) 午前10時~午後1時 12/25(金) 午後1時~4時
場 所:体験学習室
参加料:2,000円 講師:村林新吾氏(相模高校食物調理科教師、相模高校調理クラブ)
定 員:各24名(要申込・応募多数抽選)
受 付:③~9/20(日)、④11/25(水)~12/11(金)

11/3(火・文化の日) 伝統体験教室「那智黒石のペンダント作り」
那智黒石の故郷、神川町で那智黒石製造加工を4代にわたって営んでいる「徳村屋」代表徳村達男氏を講師に迎え、貴重な高級石「那智黒石」を使ってペンダント作りなどを作る加工体験を開催します。磨けば磨くほどに美しい艶が出て、那智黒石の魅力が増します。大切な方へのプレゼントなどにもおすすめです。
時 間:午後1時~午後3時半
参加料:2,000円
定 員:15名程度(要申込・先着順)
場 所:体験学習室
講 師:徳村達男氏(徳村屋代表)

新しい古道の歩き方

10/11(日) 「育生町で秋の味覚と景観を楽しむ」
熊野市育生町の栗林にたわわに実った栗の収穫体験と、粉所地区から神川町の庚申塔をお参りする道としても歩かれていた、日暮峠を歩くツアーを開催します。
時 間:午前9時~午後3時
参加料:1,200円(昼食代・保険料を含む)
定 員:15名(要申込・先着順)
場 所:熊野市育生町
ガイド:有木保氏(育生町粉所地区区長)

10/17(土) 「尾鷲道100周年記念トレッキング」
尾鷲市と大台ヶ原を結ぶ登山道「尾鷲道」開通100周年を記念してトレッキングツアーを開催します。
時 間:午前4時~午後5時 雨天の場合は10/18(日)に延期
参加料:5,000円(バス送迎代、保険料)
定 員:20名(要申込・抽選)
場 所:奈良県大台ヶ原~尾鷲道~尾鷲市古和谷
対 象:登山経験者(連続歩行10時間、歩行距離24kmの登山が出来る方)
受 付:9月20日(日) 必着
共 催:尾鷲市

受付方法
*必要事項を明記の上、往復ハガキ申込みのみ受付。
*往復ハガキの裏に住所、氏名、年齢、電話番号と最近3年間の主な山行経歴を明記。返信ハガキの表には、応募者の住所、氏名を明記。
*1枚のハガキに2名まで申込み可能。その場合は、2名分の必要事項を明記。

12/5(土) 「新宮の古道と歴史満喫ツアー」
熊野古道中辺路の中で唯一海が見える道、高野坂を歩き、浜王子へ向かうツアーです。
時 間:午前9時~午後3時 雨天の場合は12/6(日)に延期
参加料:500円(保険料・資料代を含む)
※別途JR運賃(新宮駅~三輪崎駅)は個人負担
定 員:20名(要申込・先着順)
場 所:和歌山県新宮市
講 師:新宮市観光ガイドの会会員
受 付:11月5日(木)~11月22日(日)

毎週日曜日 あなただも工芸作家! その場でできる体験教室 事前申込不要!
事前申込不要! ご来館してすぐに参加いただける工芸教室です。メニューは、箸づくりやバターナイフなどの小道具づくり、鍋敷づくり、ひのきのカスターネットや杉の貯金箱、木のおもちづくりなど盛り沢山の、週替わりで開催します。
時 間:午後1時~3時受付
参加料:100円~1000円(申込不要)
場 所:交流棟ロビーまたは、展示棟ロビー
講 師:下地 幸氏、大形 弥生氏、中井 智章氏、竹内 健信氏